

2025 年度 工学院大学文化会 総括



文化会総会]

工学院大学文化会

文化会総会は文化会の最高協議機関であり、本年度予算や方針の承認を得る場である。同時に前年度の総括、決算報告の承認を得る場である。

会長 石川 達一朗



出席率の高い総会を開催するため、2025 年度は日程の伝達を迅速に行った。また、委任状の回収が遅れてしまったため、各団体の文化会役員を通じて、こまめに連絡を行うことで円滑に委任状の回収を行えるようにした。

1.存在意義

工学院大学文化会は、本学の文化会所属の部員全員によって構成される団体であり、文化会役員は文化会所属の部活動から選出される。本会は文化会に所属する部活動がより円滑な活動を行う事が出来るよう補佐することを役割として存在している。加えて、文化会は学生団体の一機関としての役割も担い、他の委員会や大学当局とも協力して活動を行う。様々な団体間の橋渡しの役割を担い、本学の部活動の更なる躍進に尽力する。

2.目標

工学院大学文化会の活動は年間を通じて文化会系部活動を促進し、文化会役員の質の高い文化創造活動の支援のために行った。また部活動間の連携をより深める事で、トラブルのない円滑な活動を行えるように努めた。

文化会は平時の活動だけに留まらず、新宿祭では声優トークショーのステージ企画を開催し、学園祭の成功にも寄与した。

3.役員会

役員会は本部役員と各部長で構成される文化会の最高決議機関であり、文化会の問題点を指摘及び大学側への要望を討議する場である。

基本は役員のみ参加とし、部長陣には学期ごとに数回参加して頂いた。部長陣を集める日程を集中させることで参加率を上げ、一つ一つの会議をより良い内容のものにしていくように心掛けた。

4.活動内容

[連絡会議]

連絡会議は文化会に所属する部活動への連絡を担う場であると同時に、文化会の部活動相互の活動を認識するための場である。

対面だけでなくオンラインも活用しつつ、連絡会議は本部・支部ともに不定期で開催し、必要な時に必要なだけ取り行った。また、不参加の文化会役員にも必ず情報の共有を行った。

[声優トークショー]

声優トークショーは、新宿祭の活性化のために文化会が主催するイベントである。今回のステージ企画では多くの来場者に恵まれ、学内だけでなく学外からの聴衆も多く、新宿祭の集客に大きく貢献した。警備を強化させ安全性を保つことで、アーティストに安心して楽しんでもらえるように努めた。新宿祭は本部の役員が中心となって活動するが、来年度のために支部の役員にも仕事を割り振り、打ち合わせや情報共有新宿祭実行部との連携をより密に行った。

[激躍の作成]

激躍は各部活動や同好会の情報をまとめた会誌である。これは本学学長、学生支援課、各部の代表等から寄稿していただき作成する。激躍は新入生に配布される封筒に同封されることから、新入生に文化会という組織を身近に感じてもらうように尽力した。

今年度も昨年度に引き続き激躍の製作を行い、文化会系部活動の魅力を伝えられるような冊子の製作を行った。

以上を 2025 年度工学院大学文化会の総括とする。